

五十五万石

近畿税理士会和歌山支部

発行

和歌山市湊通丁北1丁目1-3

TEL.426-3600 FAX.424-1474

<http://www2.kinzei.or.jp/~wakayama/>



上高地からの穂高連峰

上高地は年間 200 万人が訪れる、北アルプス南部にある梓川上流の山岳景勝地。

穂高見命（ほたかみのみこと）が穂高岳に降臨し、この地で祀られていることに由来し、「神垣内」と表記されていたが、後に現在の「上高地」の漢字表記が一般的となった。

穂高連峰や槍ヶ岳、焼岳等の登山基地ともなっている。

目次

ごあいさつ.....	2	和税協創立 40 周年記念 青森・函館 2 泊 3 日の旅 ...	4
着任のご挨拶.....	2	和歌山大学教育学部「税の授業」研究講座 ...	6
新任署長副署長へのインタビュー.....	3	支部行事風景.....	6
65 年回顧	4	新入会員等紹介.....	7

ごあいさつ

和歌山支部長
後 安 宏 彦



初秋の候、支部会員の皆様方には益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素は支部運営に深いご理解と格別なご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、第37回支部定期総会において支部長に選任されてから早くも3か月が経過し、やっと会務に慣れてきたところでもあります。私たち役員メンバーは、それぞれの担当について会員の意見を反映した会務運営に積極的に努めてまいります。

さて税理士の業務は国民の財産権と国家の財政に深く関わっており、無償独占業務が付与されるとともに厳正な義務責任が課され、さらに社会公共的な役割が課されております。そして、我が国税制の根幹をなす申告納税制度を維持・発展することが、税理士制度が国民・納税者になくしてはならないものとして存在し続けることに繋がるとの認識のもと、運営を行ってまいります。

このため、税理士の資質向上を図るための研修事業の更なる充実に努めるとともに、社会公共的な役割をはたすため租税教育と税務支援対策を積極的に推進しております。なお、これらの事業については、税務署をはじめ関係機関との連携を密にするとともに、社会環境の変化に対応するように、随時見直しを検討してまいります。

支部会員の健康検診を実施するとともに、本年度は日帰り旅行を実施いたします。「五十五万石」の発刊を通じて支部会員の皆様等への情報発信に努めます。「指導、連絡及び監督」に関する事務を行うことが税理士会の目的であります。特に信用失墜行為につきましてはご注意ください。当号の発刊日は「防災の日」になりますが、災害に関する危機管理体制は、非常時における被災会員を支援するとともに、被災住民への支援など再建に資する諸制度の要望等税理士の社会公共性に基づいて行われることから、更なる充実に努めてまいります。

全ての項目については、会員の皆様のご尽力により達成することができますので、深いご理解と温かいご支援をお願い申し上げます。

最後になりましたが、支部会員の皆様のご健勝とご繁栄を祈念いたしまして、就任のご挨拶と会務運営のご報告とさせていただきます。

着任のご挨拶

和歌山税務署長
中 村 文 昭



初秋の候、近畿税理士会和歌山支部の先生方におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

また、平素から税務行政全般にわたりまして、深いご理解と多大のご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

この度の定期人事異動により、和歌山税務署長を拝命し、過日着任いたしました。

和歌山税務署は、国税の職場に入って初めて配属された署であり、その後、統括官として一年、今回が3回目の勤務となります。

紀州藩五十五万石の城下町、歴史と伝統に培われた人情味豊かなこの地に勤務できることは、大変光栄に感じるとともに、県下の要としての職責の重さを痛感している次第であります。

ところで、昨今の税務行政を取り巻く環境を見ますと、経済社会のグローバル化、ICT化やAIが進展するとともに、新たにマイナンバー制度が導入されております。

更に、消費税率の10%への引き上げ及び軽減税率制度が、平成31年10月に実施されることとされています。国税当局といたしましては、軽減税率制度の円滑な実施に向けて事業者の皆様には制度の内容を十分に理解していただき、自ら適正な申告・納付を行っていただけるよう、税理士会の皆様と緊密に連携を図りながら、着実な制度の周知・広報・指導・相談に取り組んでまいります。

税理士会の皆様には、周知・広報など改正制度の円滑な実施に向けてご協力を賜るとともに、関与先事業者の皆様方に対しまして、適切にご指導いただきますようお願い申し上げます。

また、ご承知のとおり、平成29年9月19日(火)から、和歌山税務署は、新庁舎「和歌山地方合同庁舎」において業務を開始します。

当面の間は、駐車場が完成しておらず一部利用できないと聞いておりますので、来署の際は、その点ご配慮いただくようお願いいたします。

このような環境の中で、「税務行政の効率化」、「納税者サービスの向上」、「適正かつ公平な賦課及び徴収の実現」に向けて、最善を尽くす所存であります。

今後とも貴支部との連携を密にし、先生方のお力添えを戴きながら、税務行政全般の円滑な運営に努めてまいりますので、これまで同様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、近畿税理士会和歌山支部の益々のご発展と会員の先生方のご健勝とご事業のご繁栄を心から祈念いたしまして、着任のご挨拶とさせていただきます。

和歌山税務署長 中村 文昭

(前任：大阪派遣国税庁監察官 主任監察官)

- ①出身は、和歌山県の粉河町です。小・中・高と通学時間は10分足らずでした。夏休みの思い出に、粉河祭がありました。今は7月の最終土日となりましたが、当時は7月27日28日で、毎年楽しみにしていました。
- ②高校3年の時に進学を考えていましたが、受験度胸をつけるために同級生と受験したところ、そのまま採用に至りました。
- ③昭和53年6月、和歌山税務署に配置され52年分特別減税のお知らせ文書の発送が最初の仕事でした。「効率よくやることを考える」と言われましたが、そのことは今でも変わりません。
- ④子供の頃、ぶらくり丁、丸正百貨店が定番で、市電の行き交う活気のある都市でした。また、和歌浦にも多くの観光客が訪れていたように思います。一昔前の和歌山市が懐かしく感じる世代となりました。
- ⑤和歌山署は、最初に配属された署で今回が3回目であり、非常に思い出深い署であります。初心に戻り、一生懸命勤めたいと思います。皆様方の一層の御理解と御協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

新任署長
副署長への
インタビュー

- ①ご出身地、子供の頃の思い出
- ②入署のきっかけ
- ③今までの仕事で印象に残ったこと
- ④和歌山についての印象
- ⑤最後に一言

和歌山税務署副署長 柏木 孝夫

(前任：大阪地方裁判所 裁判所調査官)



- ①大阪市出身です。中学生の時から塾の帰りに天王寺や新世界で遊んでいました。それでも小学生の時には、まだ道路の舗装ができていないところが多く、冬には水たまりに張った氷を割って登校したり、サルビアの花を吸って中に蟻がいたりしたことなどの記憶があります。
- ②大学時代にはバブルの前兆から景気がよくなってきており、同級生は金融機関に就職した者が多かったのですが、私は就職するのは裁判所か税務署と決めていました。
- ③振り返れば、あの時はあんなことがあった。この時はこんなことがあったと、思い出されますが、調査部に入りたての頃、何をどうしたらいいのか分からず、試行錯誤の毎日だったのが印象に残っています。
- ④和歌山へは、小さい頃、父親に連れられて魚釣りに来ていました。始発で来て昼前には帰る感じです。そして、大人になって白浜には何度か遊びに来ました。私にとって和歌山といえば和歌山ブルースですね。税務署に入りたての頃、上席がスナックでよく歌っていたのを覚えています。ぶらくり丁の名前もその時に覚えました。
- ⑤近畿税理士会和歌山支部の先生方には、平素から税務行政におきまして、御理解と御協力を賜り誠にありがとうございます。今後とも一層の御支援、御協力を賜りますように、よろしくお願いいたします。

65年回顧

山中 静

今年は私の税理士登録65年目になります。昭和27年の7月に公認会計士の登録を終わり、税理士の登録を進めたが、11月30日となりました。番号は6399です。現在県では一番古くなりました。

当時税理士会は大阪、京都、神戸、関西の4会があり、和歌山の先輩は関西会が多く、私も関西税理士会に入りました。29年に近畿税理士会が設立され近畿地区に5税理士会が出来ました。

31年和歌山県の税理士の有志が寄り税理士会を離れて和歌山県税理士協議会ができ、税務署への対応にあたるようになりました。当時のメンバーは20名でした。私は最年少者で雑用係です。39年に私に次ぐ古参の税理士が3名入り、ほっとしました。同年長年の問題の5会合併が実現して大阪合同税理士会が設立され、和歌山支部が発足しました。当時の申告時期は税務援助等税理士も多忙で、3月15日夕方より木下栄繁先生の音頭取りで慰労会を開き、ある時は海南まで遠征した思い出があります。昭和56年の大阪合同税理士会の役員選挙に当時正風会の和歌山支部長の梶谷直勇先生から勧められ常任監事になり、58年の役員選挙には本会の副会長に推され、当選しました。此の4年間は毎月理事会はじめ委員会に皆出席しました。常任監事時代京都の先輩の案内で京都の老舗一見さんお断りの力で舞妓を入れての会食した事や、又副会長として委員会の会食でカラオケを提案して率先して石原裕次郎のヒット曲を唄った事や会長代理で会員の弔事に滋賀県の長浜までいった思い出があります。副会長を終わり、ほっとした途端正風会の和歌山支部長を仰せつかり、田村会長等を迎えての総会や多くの会合に出席して県下の諸先生と交流した思い出も多い。この間多くの公職に任命され、お蔭で平成13年叙勲の栄に浴しました。皆様に感謝申し上げます。

和税協創立40周年記念 青森・函館 2泊3日の旅

勝田 晃夫

6月2日(金)

航空機内で黒毛和牛焼肉弁当を食べようとした矢先、「青森空港が悪天候のため、当機は途中で伊丹空港へ引き返すか、もしくは仙台空港への着陸変更の可能性があるので、ご搭乗の皆様はご了承下さい。」との機内放送が流れた。和歌山駅東口を定刻午前9時20分に伊丹空港へ向けて出発した時は、素晴らしい青空だったのに…！これはきっと前日(1日)夜の和歌山の悪天候が東北方面へ進んでいるのだと思った。航空機は全日空74人乗りで、何度か横揺れがあり心配したが、今回の旅の参加者全員の日頃の行いがいいのか？その精進のお蔭で30分ほど遅延したものの、無事14時頃に青森空港へ着陸。ホッと胸をなでおろした。

これが和税協創立40周年記念、青森・函館2泊3日の旅のはじまりである！

青森空港から観光バスに乗り十和田湖へ向けて出発。青森は小雨が降っており気温も低く、肌寒い日でした。道中バスガイドの軽快な津軽弁を聞き、新緑のブナやトチノキ、熊笹を見ているうちに十和田湖遊覧船乗り場に到着。残念ながら飛行機の遅れにより、遊覧は子ノ口～休屋の片道に変更となったが、ゆっくりと進む船の中で一杯250円の珈琲とお茶菓子と頂き満悦したひとときを過ごした。

その後、車中より奥入瀬渓流を見ながら、星野リゾート「奥入瀬渓流ホテル」に着いた。ホテルは東館と西館からなり、館内には岡本太郎作のアートオブジェがあり、その素晴らしさに圧倒された。

夕食はメインダイニング「西洋膳処 奥入瀬」。理事長の挨拶、相談役による乾杯、参加者各々の自己紹介もあり、ノスタルジックな雰囲気の中で東北青森の新鮮な魚介やお肉、旬の食材を使用した料理に舌鼓を打ち、また飲み放題で華やかな宴会となった。

6月3日(土)

2日目は曇り空ではあったが早朝5時から渓流やホテル周辺を散歩する人、また6時からホテルより運行している溪流シャトルバスを利用し溪流の見どころが多く集まる中流域を散策する人、様々な過ごし方をして奥入瀬の大自然に囲まれたホテルを満喫した。

庭の新緑を眺めながら「青森りんごキッチン」で多彩なバイキング料理の朝食を食べ、ホテルを9時30分に出発し八甲田山麓へと向かった。八甲田ロープウェイ乗り場では小雨が降り出し、約10分の乗車時間で山頂に着くころには山全体が霧に覆わ



れており、津軽半島や青森市内等は大体の予想で感じる事が出来たが、あいにくの天気ですべての景色が見えなかった。

昼食は洋風ログ木造建築の「八甲田ホテル」でポタージュスープ、野菜、柔らかいビーフ肉やフランスパン等、青森県産の厳選食材を使用した春爛漫のフレンチコースを堪能した。

その後、JR青森駅の海手にある、ねぶた祭の歴史や魅力を一年中体験できる青森市文化観光交流施設「ねぶたの家・ワラッセ」を見学。次に函館市へ向かうため新青森駅より北海道新幹線はやぶさ19号に乗り、あつという間の16時34分に新函館北斗駅に到着。青函トンネルを通過するのは約25分位で距離にすると53.8km、また新函館北斗駅までの乗車時間が約1時間3分とあまりにも早く、ここは北海道？と実感できなかった。

駅からAKBではなくHKBバスに乗り換え、世界三大夜景の一つである函館の夜景を眺望できる13階建ての「ラビスタ函館ベイホテル」へ。今でも予約が難しいと言われている今夜の宿泊先で荷物を降ろし、夕食会場のミシュラン2つ星にも選ばれた格式のある「料亭 富茂登」へ。料亭では50人（JTB添乗員含む）も入る部屋がなく、35人と15人に分かれての宴会となった。本日も飲み放題であり昆布やじゃがいもの焼酎も人気で、料理はイカソーメン、カニ野菜鍋、イクラご飯など函館近海の海の幸を味わい、その美味しさに殆ど全員が完食したと思う。

食事の後は夜のハイライトと題し、函館の夜景観賞に函館山へ。道中、護国神社に車中からお詣りし、17時～22時まで一般車両通行止めの山道を、車内照明を消しながら山頂の展望台へと進む。山頂へ着くと小雨と霧のため残念ながら夜景はほとんど確認できなかった。2合目あたりではハッキリ全体とまではいかないが、美しい函館の夜景が確認できたのはせめてもの救いだった。

6月4日(日)

3日目の朝は、7時ごろから小雨の中ホテルより歩いて15分の函館朝市を見学する人もいた。朝食は「北の番屋」でイクラ、甘海老、イカ、ホタテなど函館の海の幸をふんだんに楽しめるバイキングであった。

9時にホテルを出発し、五稜郭タワーへ向かう。途中、土方歳三戦死の地を車中から見ながら目的地へ到着。早速展望室から緑に映えた美しい星型の姿に感動した。地元の人や観光客は5月の連休中に桜満開の五稜郭タワーへ訪れる人が多いと話を聞いた。その後1階の撮影スポットで参加者全員の記念撮影を行い、HKBバスに乗り金森赤レンガ倉庫へ向かう。

金森赤レンガ倉庫のうち、はこだて明治館は、北海道で最初に建てられた郵便局の建物で入り口には昔の赤いポストが今でも存在していた。異国情緒あふれる街並みをしばらく散策し、お土産を買いながら皆と談笑する時間を過ごした。

次はいよいよ旅行最後の目的地へ。天皇・皇后両陛下も立ち寄られ食事されたお店であり、北海道はもとより全国的にも有名な五島軒で伝統の洋食カレーコースを昼食に食べた。

その後函館空港でまたお土産を買い、13時45分発JAL2124便76人乗りの航空機に乗り、伊丹空港へ定刻15時25分に着陸した。その後出発日に乗車したバスで途中岸和田サービスエリアにて休憩し、伊勢名物「赤福餅」を買い、楽しい思い出と共に帰路に着いた。

和税協担当役員様、JTB西日本和歌山支店様、色々気疲れもあつたと思います。お陰様で参加者全員誰一人、病気・怪我もなく充実した旅を満喫することが出来ました。本当に有難うございました。

和歌山大学教育学部「税の授業」研究講座

島 紀郎

6月26日 藤戸台小学校6年生4クラスに対して、「税の授業」を大学生7名と私が2人1組となって授業を行いました。

今年の4月10日より、租税教育推進委員会からの派遣講師として、和歌山大学教育学部「税の授業」研究講座に毎週月曜日10:50～12:20まで行かせて頂いております。

この研究講座の目的は、『和歌山大学教育学部において、大学、学生、税の専門家（税務職員、税理士）が協働して、「租税教育」をテーマとして社会科教育研究に取り組むことにより、学校教育における中長期的な租税教育の充実を図ること』。

つまり、「将来の租税教育を担う教員の育成」のために小学生に税の授業を行って頂きます。その授業をするために大学生達に税の仕組み等を理解してもらうための講義（税務職員・和歌山市役所職員・税理士）を大学生と共に数回受け、その後は授業をするための準備をアドバイスしながら一緒になって進めたいという今回の授業でした。

これから残り3回で、行った授業で得た経験で良い点・悪い点をまとめて、改善策を来年の受講者にも活かせるようにまとめていきたいと思っております。



平成29年6月26日
和歌山大学 教育学部 税の授業風景

役員 紹介



支部長
後安 宏彦



支部監事
宮下 良一



支部監事
大西 啓介



総務委員会
上野 隆也・竹内 央・坂本 知子



業務対策委員会
谷井 茂紀・中北 茂寛・金岡 孝明・藤原 光男



広報・租税教育推進・綱紀監察委員会
高木 俊明・岡野 良平・堀 博充・額田 朋子



厚生委員会
奥 智香子・西之坊 幸宏・小西 里枝・山田 賢



税務支援対策委員会
古田 倫子・湯川 直樹・橋本 博文・瀬藤 啓司・島 紀郎

支部行事風景



平成29年5月12日 支部研修会



平成29年5月12日 第37回定期総会



平成29年6月7日 DVD研修会



平成29年8月7日 ライブ配信研修会

新入会員等紹介 (敬称略)

入 会



ウラモト タカヒロ
浦元 天裕
平成29年1月26日
和歌山市六十谷749番地6
清水ビル3階



オガワ チカ
小川 千佳
平成29年2月22日
和歌山市西旅籠町4
第2垂井ビル2階
小谷匡税理事務所



ヤマモト カズオ
山本 和生
平成29年3月22日
和歌山市駕町23
梶本幸弘税理事務所



ヒライシ ユウコ
平石 裕子
平成29年3月22日
和歌山市太田4丁目10番3
齋藤恒明税理事務所



キタチカコ
喜多智佳子
平成29年3月22日
和歌山市寄合町24
岡八重子税理事務所



ソウガワ ヨシキ
寒川 芳明
平成29年5月25日
和歌山市関戸5丁目5番23
瀬藤啓司税理事務所

税理士法人川邑・中合同会計事務所
平成29年1月10日
和歌山市湊通丁北4-40

転 出

西本 隆文
(東京会へ)
平成29年1月13日

平石 繁樹
(湯浅支部へ)
平成29年4月3日

九鬼 克史
(湯浅支部へ)
平成29年5月9日

退 会

杉山 等
(業務廃止)
平成29年1月13日

関本 昭雄
(業務廃止)
平成29年1月17日

和田 豊彦
(業務廃止)
平成29年2月20日

和田 公平
(業務廃止)
平成29年3月9日

栗山 朗
(業務廃止)
平成29年5月29日

転 入



オクノ コウイチ
奥野 浩一(奈良支部より)
平成28年11月19日
和歌山市太田439番地10

会 員 数

平成29年7月15日現在 236名(社)

編 集 後 記

五十五万石第44号発刊にあたり、投稿募集の案内をさせていただいたところ、多数の先生方よりご投稿いただきました。心より感謝申し上げます。

次号では成年生まれの年男、年女の先生方に力作をお願いしたいと思いますので、ご投稿の程宜しくお願い致します。

さて、和歌山市では今「大政奉還150周年記念プロジェクト」に参画し、さまざまなイベントが行われています。

たとえば、和歌山市立博物館では10月21日から「幕末の紀州藩」と題し、激動の幕末に活躍した第14代将軍徳川家茂(紀

州藩出身)、第二次幕長戦争の先鋒総督徳川茂承(紀州藩第14代<最後の>藩主)、海援隊の一員として力を発揮した陸奥宗光(のちの農商務、外務大臣)などに関する資料を展示し、その活動を紹介します。『大政奉還150周年記念プロジェクトHPより』

このほか、京都市等と相互に交流・連携した事業(幕末維新スランブラリー:わかやま歴史館にて開催)なども行われていますので、この機会に和歌山の魅力の再発見にでかけられてはいかがでしょうか。

広報委員会 岡野、堀

和歌山税務署 庁舎移転のお知らせ

和歌山税務署は、庁舎移転に伴い平成29年9月19日（火）から「和歌山地方合同庁舎」において事務を取り扱うこととなりますので、お知らせいたします。

なお、所在地等は次のとおりです。

新所在地

〒640-8520

和歌山県和歌山市二番丁3

和歌山地方合同庁舎

和歌山税務署

TEL073-424-2131

【交通手段】

南海本線	和歌山市駅	徒歩約20分
JR阪和線	和歌山駅	徒歩約25分
和歌山バス	公園前停留所	徒歩約5分